

# 町田市の人口年表

年号	西 暦	記 事
弥 生	B.C 86 A.D 588 646 743	人口調査実施。 全国人口393,115人。 班田・租庸調法制定（6年毎実施）。 この頃小山町の窯跡から推し、相模の国に属していたものと思われる。 墾田永代私有の法制定→開墾さかんとなる。
享保 6	A.D 1721 1805	徳川吉宗人口調査。全国人口26,065,425人、これ以降1846年まで16回実施。 関東取締出役設置。「寄場名主」を筆頭に組合村形成。この頃よりさかんに村概況、戸数人口、道、橋、秣場、助郷等詳に調査し各村の明細帳として作成。
慶応 4	A.D 1868	市域武蔵知県事、韭山県管轄となる。「江戸」が「東京」となり、旧東京府設置。
明治元 2 3 4 5 9 11 21 22 26 28 32 33	A.D 1868 1869 1870 1871 1872 1876 1878 1888 1889 1893 1895 1899 1900	この頃までに上図師、下図師、上下図師村持添統合、上下図師村となり、のち図師村と称す。 この頃小川・高ヶ坂・鶴間・金森・成瀬は神奈川県に、他は品川県に所属。東京奠都。 この頃市域の人口約14,000人。 戸籍編成規則回達、「平民族戸籍」編成。 戸籍編成に際し五人組復活、伍長を置く。戸籍法制定（壬申戸籍）。戸籍区制実施につき市域は第30、第31、35区に含まれる。廃藩置県。東京府設置。寺請制から氏子守札制移行。この頃原町田・本町田・森野・南大谷→品川県より神奈川県に編入される。 土地永代売買の禁を解き、所有者に地券（壬申地券）下付。明治6年にかけて物産調査施行。太陽暦採用。市域の組合村解体。庄屋などを廃し、戸長などと改称す。 （壬申）戸籍編成のための全国戸口調査実施。 原町田の大火（ローソク屋出火）。氏子守札制での人口調査廃止。 この頃の市域の人口約14,000人。 三新法（郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則）公布。神奈川県多摩郡を西・北・南に分割。翌年までに大谷村→南大谷村となる。原町田・本町田・森野・南大谷→南多摩郡に入る。 市制・町村制公布。 市域24村から鶴川・南・忠生・町田・堺の五村に合併する。大日本帝国憲法発布。 東京市制施行。 4月1日三多摩東京府へ移管につき、市域も東京府となる。 下関条約。12月31日現在人口18,637人、3,329戸。 南多摩郡、郡制施行。耕地整理法分布。 人口20,184人、3,328戸。 1904年横浜鉄道本社、東神奈川に創立。1908年横浜鉄道（八浜線）開通に伴い原町田駅開設。同年忠生村役場新設（図師1448番地、現在の図師大橋付近）。
大正 2 9 10 12	A.D 1913 1920 1921 1923	町田村→町田町となる。1915年町田町役場新築（原町田1241番地4、現都南デパート付近）。1917年横浜鉄道国有化。この頃日本の生糸生産額世界の6割に達す。 戦後恐慌。第1回国勢調査実施（町田分人口23,620人）。 郡制廃止法公布。同年原町田駅前タクシー開業される。 関東大震災。市域の死者28人、被害も甚大。南多摩郡廃止。

年号	西 暦	記 事
昭和 2	A.D 1927	小田急線（新宿－小田原）開通。新原町田駅、鶴川駅設置。
4	1929	世界経済恐慌（日本は 1年遅れ）帝都昼間人口調査。
5	1930	町田乗合バス会社設立。
8	1933	9月 8日町田町大火災（115戸焼失）。
15	1940	第 5回国勢調査（市域人口32, 020人）。1941年太平洋戦争勃発。1842年食糧管理法制定。1943年東京都制実施。1944年資源調査法による人口調査。
20	1945	市域各地に爆弾投下。太平洋戦争終焉。市域全体の戦死者1, 135人。資源調査法による人口調査。第 6回国勢調査（市域人口50, 528人）。
21	1946	日本国憲法公布。
22	1947	統計法公布。東京都昼間人口調査。 1948年常住人口調査。1952年住民登録法施行（S.27.7.1）。同年金森に都営引揚者住宅建設、以後都営住宅建設続く。
29	1954	町田町・南村合併。1957年首都圏整備法施行。
33	1958	首都圏整備法指定第 1号。2月 1日町田市制施行。世帯12, 970、人口61, 105、男30, 619、女30, 486。 1961年高ヶ坂団地入居。東京都の常住人口 1千万人突破。1963年森野・木曾団地入居。
39	1964	（S.39.5.1）人口100, 928人、26, 808世帯。同年オリンピック東京大会（第18回）開催。1965年本町田団地入居。
42	1967	鶴川団地入居。住民基本台帳法施行（S.42.11.10）。1968年境川団地・山崎団地入居。1968年東急田園都市線つくし野駅開業。
45	1970	藤の台団地入居。住基人口200, 459人、61, 609世帯（S.45.10.1）。市役所新庁舎オープン。新都市計画法による三多摩の市街化調整。団地白書発表。第11回国勢調査実施。
47	1972	沖縄返還。集中豪雨で境川氾濫、各地に被害。
50	1975	市営水道事業都へ移管。第12回国勢調査（S.50.10.1）人口255, 305人、73, 371世帯。
55	1980	第13回国勢調査（S.55.10.1）人口295, 405人、89, 547世帯。
60	1985	第14回国勢調査（S.60.10.1）人口321, 188人、100, 826世帯。
63	1988	高齢者人口7. 09%になる。
平成 2	A.D 1990	第15回国勢調査（H. 2.10.1）人口349, 050人、119, 009世帯。
3	1991	京王相模原線多摩境駅開業。
7	1995	1月17日 阪神淡路大震災 死者6, 300人以上、被災者30万人を越える大災害。 第16回国勢調査（H. 7.10.1）人口360, 525人、130, 739世帯。

※ 「東京都人口年表」及び「町田市歴史年表」、「町田の歴史をさぐる」等ご参照ください。